

令和5年度の取り組み評価
(逗子市健康増進・食育推進計画担当者会議における委員へのヒアリング結果)

評価指標	評価方法	市民協働課				文化スポーツ課				経済観光課				高齢介護課			
		テーマ番号		③		テーマ番号		①		テーマ番号		③		テーマ番号		③	
		評価資料		自己評価	得点	評価資料		自己評価	得点	評価資料		自己評価	得点	評価資料		自己評価	得点
				評価	得点			評価	得点			評価	得点			評価	得点
ストラクチャー	他機関との連携 社会資源の活用 ⇒連携・活用しているか	4段階評価 目的達成のために 4：よくできた 3：大体できた 2：あまりできなかった 1：ほとんどできなかった	食品ロス削減やエンカル消費などの推進で、国や県、消費生活センターなどと連携している。	4	100	スポーツを楽しむまち逗子推進懇話会やスポーツ推進審議会を運営し、市民をはじめ、スポーツ協会、スポーツ推進委員協議会、社会福祉協議会等の関係団体と連携している。	4	100	小坪漁協と小学校をつないだ授業の実施や、地元の産業を市民に知ってもらう活動などを通して、商工会や関係組織・団体と連携している。	4	100	要介護高齢者の生活支援や配食サービスについて、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所などと連携。民間委託業者なども積極的に活用している。	4	100			
	必要とする 予算の確保 ⇒確保できたか	4段階評価 目的達成のために 4：確保できた 3：大体確保できた 2：あまり確保できなかった 1：ほとんど確保できなかった	食品ロス削減などの啓発に係る資材は、国や県などから無償提供されているため、特に予算要求していない。	—	—	スポーツ推進において、当初予算を確保できた。	4	100	「海業」をはじめとした市内産業活性化のための当初予算を確保できた。	4	100	当初予算を確保できた。 (配食サービスは利用者が減ったものの、利用者の利用頻度が高まった。)	4	100			
プロセス	データに基づく 現状分析 ⇒現状を客観的に 見ているか	4段階評価 目的達成のために 4：よくできた 3：大体できた 2：あまりできなかった 1：ほとんどできなかった	消費生活に係る相談内容・件数についてとりまとめ、国へ報告・共有。情勢を把握している。	4	100	令和6年3月、逗子市スポーツ推進計画を策定し、現状分析している。	4	100	小坪漁港活性化のロードマップを策定して現状分析している他、創業支援などで市内団体からの実績報告を通して現状分析している。	4	100	高齢者福祉計画を策定し、現状分析している。また、独居高齢者の個別訪問などを通してニーズ把握している。	4	100			
	目標への手段 ⇒取組みを工夫 しているか	4段階評価 目的達成のために 4：良い 3：まあ良い 2：あまり良くない 1：良くない	本計画担当者会議で庁内部署との連携体制ができ、啓発や周知などの幅が広がった。	4	100	懇話会や審議会において意見を聞き、市内の競技団体や関係団体の協力を受けてスポーツの祭典などのスポーツ推進事業の取組みを行った。	4	100	子どもを対象とした授業やイベントへの支援に力を入れることで、次世代育成を図ると共に親世代への周知を図っている。	4	100	ケアマネージャー向けに取組み周知も兼ねた研修を実施。民間企業を活用した事業委託など工夫している。	4	100			
アウトプット	実施回数 実施会場数 ⇒当初の想定と 比べてどうか	4段階評価 4：計画値に達した 3：計画値の80%以上 2：計画値の60%以上 1：計画値の60%未満	該当なし	—	—	当初計画した取組みを実施した。	4	100	当初計画した取組みを実施した。	4	100	当初計画した取組みを実施した。	4	100			
	参加人数 ・受診率 ⇒当初の想定と 比べてどうか	4段階評価 4：目標値（定員）に達した 3：目標値（定員）の80%以上 2：目標値（定員）の60%以上 1：目標値（定員）の60%未満	該当なし	—	—	スポーツの祭典の参加人数 令和5年度：2,278人 (令和4年度：3,141人) ※雨天により前年度を下回った。 (前年度比：72.5%)	2	50	イベントなどは毎回好評で、すぐ定員に達する。	4	100	配食サービスについて 令和5年度：4547食 (目標値：5900食) ※申請より廃止が増した。 (実績：77.1%)	2	50			
アウトカム	(市民の) 目的の理解度 ⇒取組みの意図 が伝わったか	アンケートで、目的としている事項を理解した、まあ理解したと回答した人の割合（4段階評価） 4：90%以上 3：80%以上 2：70%以上 1：70%未満	該当なし	—	—	スポーツの祭典でアンケートを行ったが、該当項目なし。 【参考】「スポーツを始めるきっかけになったと思う」と答えた割合：65.3%（269人/412人）	—	—	該当するアンケートは行っていない。	—	—	該当なし	—	—			
	(市民の) 実践可能性 ⇒取組みを 実践できそうか	アンケートで、目的としている事項を実践できそう、まあできそうと回答した人の割合（4段階評価） 4：90%以上 3：80%以上 2：70%以上 1：70%未満	該当なし	—	—	スポーツの祭典でアンケートを行ったが、該当項目なし。 【参考】「週1回以上運動している」と答えた割合：76.5%（315人/412人）	—	—	該当するアンケートは行っていない。	—	—	該当なし	—	—			
				平均点	100					平均点	91.7					平均点	91.7

評価指標		評価方法	社会教育課			学校教育課			子育て支援課			保育課					
			テーマ番号		自己評価	テーマ番号		自己評価	テーマ番号		自己評価	テーマ番号		自己評価			
			評価資料			評価資料			評価資料			評価資料					
			①、③	評価	得点	①、②、③	評価	得点	②、③	評価	得点	③	評価	得点			
ストラクチャール	他機関との連携 社会資源の活用 ⇒連携・活用しているか	4段階評価 目的達成のために 4：よくできた 3：大体できた 2：あまりできなかった 1：ほとんどできなかった	社会教育について市民へ学習機会を提供するため、「現代的課題」、「地域課題」、「子どもを育てる環境づくり」に関する組織・団体と連携して講座などを実施。	4	100	4	100	食育推進について、食育推進ネットワーク会議で市立小・中学校と連携している他、小坪漁協など市内団体と連携して推進している。	4	100	離乳食教室で食生活改善推進団体と連携している他、本担当者会議を通して関係部署と連携し、妊産婦や乳幼児に係る情報発信に活用している。	4	100	市立保育園の他、横須賀・三浦・逗子・葉山地域の栄養士会（はなゆずの会）、小坪漁協などと連携を取り、食育を推進している。	4	100	
	必要とする 予算の確保 ⇒確保できたか	4段階評価 目的達成のために 4：確保できた 3：大体確保できた 2：あまり確保できなかった 1：ほとんど確保できなかった	当初予算を確保できた。	4	100	3	75	目的達成のための特段の予算要求はしていない。	4	100	当初予算を確保できた。	4	100	当初予算を確保できた。	4	100	
プロセス	データに基づく 現状分析 ⇒現状を客観的に 見ているか	4段階評価 目的達成のために 4：よくできた 3：大体できた 2：あまりできなかった 1：ほとんどできなかった	社会教育委員会議（年4回）を開催して現状を伝え、委員から助言を得ている。	4	100	4	100	市立小・中学校について、年間の食育全体計画を定めており、現状分析している。	4	100	子ども子育て支援事業計画を策定し、現状分析している。また、教室や個別訪問などを通してニーズ把握している。	4	100	市立保育園について、年間の食育計画を定めており、現状分析している。	4	100	
	目標への手段 ⇒取組みを工夫 しているか	4段階評価 目的達成のために 4：良い 3：まあ良い 2：あまり良くない 1：良くない	社会教育委員会議での助言をもとに、ニーズを鑑みて講座を企画している。	4	100	4	100	各校で野菜作りや米作り、漁業の取り組みに触れる機会などを授業に取り入れ、工夫している。また、SNSで月1回ほど給食内容を発信している。	4	100	助産師や管理栄養士を採用して毎週相談日を設けている他、SNSで離乳食の進め方などを配信。また、情報や取り組みを一覧にした『子育てガイド』を発行した。	4	100	市立保育園に管理栄養士が赴き、食の話題で年8回講座実施。また地域の栄養士会で食育講座を実施している他、保護者向けに『食育だより』を月1回発行している。	4	100	
アウトプット	実施回数 実施会場数 ⇒当初の想定と 比べてどうか	4段階評価 4：計画値に達した 3：計画値の80%以上 2：計画値の60%以上 1：計画値の60%未満	当初計画した取り組みを実施した。	4	100	4	100	各校で計画に沿って行われた。	4	100	毎週妊産婦や子どもの授乳や栄養相談を開催している他、離乳食教室（初期、中期・後期）を隔月開催。産前教室も当初計画に沿って開催。	4	100	上記のとおり各園で計画に沿って行われた。	4	100	
	参加人数 ・受診率 ⇒当初の想定と 比べてどうか	4段階評価 4：目標値（定員）に達した 3：目標値（定員）の80%以上 2：目標値（定員）の60%以上 1：目標値（定員）の60%未満	いずれの講座も概ね好評を得ている。特に親子料理教室は定員を超える応募がある。	3	75	4	100	各校で授業に取り入れて行われた。	4	100	産前教室や離乳食教室は参加人数少なめだが、SNS発信や毎週設けている相談日にニーズが移行している印象。	2	50	各園で食育について取り入れられた。	4	100	
アウトカム	(市民の) 目的の理解度 ⇒取組みの意図 が伝わったか	アンケートで、目的としている事項を理解した、まあ理解したと回答した人の割合（4段階評価） 4：90%以上 3：80%以上 2：70%以上 1：70%未満	該当するアンケートは行っていない。 ※今後、本内容を入れられるよう調整する。	—	—	4	100	アンケートではないが、各取り組みや単元ごとに、個々の振り返りや次に向けた目標設定などを行っている。	4	100	離乳食教室（初期、中期・後期）でのアンケートにて、「進め方の目安がわかった」（初期99.8%、中期・後期94.4%）、「進捗に合った食材の使い方がわかった」（初期100%、中期・後期94.4%）、「体験を通して取り分け食の作り方がわかった」（中期・後期100%）。	4	100	該当するアンケートは行っていないが、各園に管理栄養士が6～7回/月訪問し、食に関するフィードバックを得ている。	4	100	
	(市民の) 実践可能性 ⇒取組みを 実践できそうか	アンケートで、目的としている事項を実践できそう、まあできそうと回答した人の割合（4段階評価） 4：90%以上 3：80%以上 2：70%以上 1：70%未満	該当するアンケートは行っていない。 ※今後、本内容を入れられるよう調整する。	—	—	4	100	アンケートではないが、各取り組みや単元ごとに、個々の振り返りや次に向けた目標設定などを行っている。	4	100	該当するアンケートは行っていないが、個別訪問や乳幼児健診、毎週行っている相談日などで実践を確認している。	4	100	該当するアンケートは行っていないが、各園に管理栄養士が6～7回/月訪問し、食に関するフィードバックを得ている。また、各園食育計画を実践している。	4	100	
				平均点	95.8					平均点	96.9						
												平均点	93.8				